

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【公表番号】特表2010-518581(P2010-518581A)

【公表日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2009-549161(P2009-549161)

【国際特許分類】

H 01 M	4/134	(2010.01)
H 01 M	4/62	(2006.01)
H 01 M	4/38	(2006.01)
H 01 M	4/52	(2010.01)
H 01 M	4/485	(2010.01)
H 01 M	4/525	(2010.01)
H 01 M	4/58	(2010.01)
H 01 M	4/13	(2010.01)
C 01 B	25/45	(2006.01)
C 01 G	45/12	(2006.01)

【F I】

H 01 M	4/02	1 0 5
H 01 M	4/62	Z
H 01 M	4/38	Z
H 01 M	4/52	1 0 1
H 01 M	4/48	1 0 2
H 01 M	4/52	1 0 2
H 01 M	4/58	1 0 1
H 01 M	4/02	1 0 1
C 01 B	25/45	Z
C 01 G	45/12	

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月24日(2011.1.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リチオ化及び脱リチオ化を受けることが可能な粉末材料と、

前記粉末材料は、スズ、スズ合金、炭素及びこれらの組み合わせから選択される、

リチウムポリアクリレートを含む非弹性結合剤と、

を含んでなる、負極用電極組成物。

【請求項2】

リチオ化及び脱リチオ化を受けることが可能な粉末材料と、

前記粉末材料は、スズ、スズ合金、シリコン、シリコン合金、炭素及びこれらの組み合わせから選択される、

リチウムポリスチレンスルホネート、リチウムポリスルホネートフルオロポリマー、マレイン酸又はスルホン酸を含むコポリマーのリチウム塩、ポリアクリロニトリルポリマー

、硬化フェノール樹脂、硬化グルコース及びこれらの組み合わせから選択される結合剤と、を含んでなる、電極組成物。